

性の多様性の理解促進に関する取組事例紹介

事業所・団体名	イオンリテール(株)	 <p>イオンは、ダイバーシティが生まれ出す、従業員とその家族、お客さま、会社の</p> <p>満足を“ダイ満足”と名付け、グループ共通のビジョンとしています。</p>
所在地	栃木県内 5 店舗 (イオンスタイル佐野新都市、イオン栃木店、イオンみぶ店、イオン小山店、イオン今市店)	
設立	2008 年 8 月 21 日発足	
URL	https://www.aeonretail.jp	
業種	卸売・小売業	
事業内容	総合小売業 店舗数：367 店舗（2024 年 2 月末現在）	
従業員等数	73,317 人（2024 年 2 月末現在）	
取組内容	<p>各種教育+オンデマンド配信による LGBTQ 研修の実施</p> <p>◆DE&I 推進体制構築とグループ共通方針の策定 約 60 万人が働くイオングループでは、グループ主要企業約 70 社に DE&I 推進体制を置き、グループ共通の方針のもと各社独自の取組を推進。その一環として「LGBTQ 研修」を実施しています。</p> <p>◆オンデマンド LGBTQ 研修</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>最新の人権知識を学び、従業員一人ひとりが自分らしく働ける職場づくりを目指し、LGBTQ+に関する研修をオンデマンド配信“ダイ満足”ライブラリで提供、いつでも、どこでも、だれでも何度でも学べるため、多くの従業員が受講し、LGBTQ+の基礎知識、お客さま対応時に配慮すべきこと等を共通認識として学んでいます。</p> <p>◆階層別教育と「人権カレッジ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入社員はグループ企業合同での性の多様性を含めた人権研修に参加、管理職は「DE&I 研修」の中で、性の多様性等時代とともに変わる価値観・常識を理解し、自らの意識をアップデートすることで、誰もが働きやすい職場を作り上げていくことに取り組んでいます。 	

・「人権カレッジ」：年4回、計12の人権課題（「性的マイノリティ」研修含む）についてイオングループ各社より任命された人権啓発推進員に対し社内・外部講師より教育を実施。受講者である人権啓発推進員は自らが主体となり自社の人権教育を推進、イオングループ全体への教育に繋げています。

◆「人権啓発ガイドブック」

様々な人権に関する基礎知識を習得するためのツールの一つとして「人権啓発ガイドブック」を作成し、新入社員等従業員に配布、各自の啓発に役立てるとともにガイドブックを活用した研修教材の開発を実施しています。

〈『人権ガイドブック』より 抜粋〉



◆その他

1. 初めてグループで日本最大級のLGBTQ+関連のイベント東京レインボープライド2024に出展しました。

ブースでは、イオン、イオンモール、ウエルシア薬局、イオンポディがそれぞれ、LGBTQ+に関する取り組みやインクルーシブ・ショッピング活動、ユニセックス商品のご紹介、アロマのミニワークショップなどを展開。今後も、1人ひとりに安心・安全にお買い物を楽しんでいただけるよう、より一層個に寄り添った対応や環境を目指していくために、イベントでは多くの方のお声を聞かせたいできました。

2. 「イオン店舗におけるインクルーシブガイドライン～誰もが使いやすい店舗づくりを目指して～」をグループ共通の店舗施設、設備の対応ガイドラインとして発行。バリアフリー法のみならず、ユニバーサルデザインの理念やLGBT理解増進法、障害者差別解消法における合理的配慮の提供、優先トイレの考え方等を取り入れて、障がいの有無や年齢、性別に関わらず、全てのお客さまが安全で、

安心して、快適に利用できる店舗環境を推進しています。

優先トイレ

Priority Restroom
For All Gender



記載日：令和 7 年 2 月 13 日